

1999年（平成11年）の天候概要

冬(前年12月～2月)は1月上旬に寒気が南下してまとまった降雪があったが、冬型の気圧配置は長続きせず3年連続の暖冬となった。春も3月が記録的な高温となりソメイシの開花が早まった。梅雨入りは6月15日頃、梅雨明けは7月24日頃でともに平年並であった。梅雨明け以降8月上旬にかけて厳しい暑さが続いたが、8月中旬は南から湿った空気が流れ込み大気の状態が不安定となり、各地で局地的な雨が降った。台風の発生は22個で9月に2個上陸し、いずれも県内で被害が出た。秋も9月を中心に記録的な高温となり紅葉が遅れた。初霜や初雪は平年よりも遅かったが12月中旬の末から下旬の初めに掛けてまとまった降雪があった。年を通して高温が目立った。

今年の主な天候の経過と特徴

◎3年連続の暖冬

1月は冬型の気圧配置がしばしば現れ、特に上旬後半には冬型の気圧配置が強まってまとまった雪が降った。中旬半ば以降は短い周期で天気が変わり気温は高めに経過。2月は周期的に寒気が南下したため気温が低く雪の降る日もあったが、冬型の気圧配置は長続きせず高気圧に覆われて晴れる日もあった。北陸地方の冬の平均気温は平年より1.0℃高く、3年連続の暖冬となった。

◎春は記録的な高温

3月は下旬に寒気の影響で気温が真冬並の日もあったが、全般に気温の高い日が多く月の平均気温は福井で8.6℃(平年5.9℃)、敦賀で9.5℃(平年6.9℃)と、ともに観測開始以来高い記録の第1位となった。桜(ソメイシ)の開花は福井・敦賀ともに3月26日で、平年より福井は12日、敦賀は11日早く、福井では観測開始以来最も早い開花となった。

◎6月下旬梅雨前線で大雨

北陸地方は梅雨入りが6月15日頃(平年6月12日頃)、梅雨明けが7月24日頃(平年7月22日頃)でともに平年並。6月下旬は梅雨前線の影響で曇りや雨が続き、29～30日は日本海沿岸まで北上した梅雨前線を低気圧が進んで大雨となり土砂崩れや落石などの災害が発生した。

◎7月下旬～8月上旬記録の高温

7月下旬から8月上旬にかけて太平洋高気圧の強まりとともに本州付近へ弱い熱帯低気圧が接近して南よりの山越えの風が北陸地方に流れ込み、厳しい暑さが続いた。特に最低気温が下がりにくく、熱帯夜が福井で18日間、敦賀で21日間継続して最長記録を更新した。

◎8月中旬局地的豪雨で災害相次ぐ

8月中旬は弱い熱帯低気圧が相次いで本州付近に接近、上陸した影響で湿った暖かい空気が流れ込んで大気の状態が非常に不安定となり、14～15日にかけて美浜で1時間雨量95mm、日雨量269mm、2日間の雨量359mmと記録的な集中豪雨が発生した。その他県内各地でも局地的に激しい雨が降り土砂崩れや床上・床下浸水等が多発した。

◎台風9月に2個上陸

台風の発生数は22個で平年の発生数27.8個より少なかった。このうち9月に第16号と第18号の2個が上陸し県内にも影響を与えた。

◎秋も高温顕著

秋(9～11月)の気温も全国的に高く、平均気温は福井で18.0℃(平年16.2℃)、敦賀で19.0℃(平年17.1℃)と平年よりも2℃近く高くなった。福井では前年秋も18.0℃と観測開始以来の高温だったがこれと並ぶタイ記録となった。敦賀では前年の記録18.9℃を上回り第1位を更新した。

平年・前年との比較

観測項目	福 井			敦 賀		
	平均気温℃	降水量mm	日照時間h	平均気温℃	降水量mm	日照時間h
本 年	15.0	2374.5	1573.6)	15.8	2395.0	1558.6
平 年 値	14.1	2368.3	1601.4	14.8	2418.9	1617.9
階級区分	かなり高い	平年並	平年並	かなり高い	平年並	やや少ない
前 年	15.5	2578.5	1385.8)	16.3	2070.0	1331.7)

(注)表中の“)“は一部欠測値を含むことを表す。

1999年（平成11年）月別気象概況

1月 上旬後半、大雪で交通網乱れる

上旬は中頃に一時高気圧に覆われて晴れた他は冬型の気圧配置が続いて雨や雪の日が多かった。8～9日には強い寒気が北陸付近まで南下し（8日09時輪島市上空約5100mで-40.5℃）県下全般に連日30cm前後の降雪があり、積雪は50～70cmとなった。中旬前半は冬型の気圧配置が続いて気温が低く、しぐれる日が多かったが、後半は高気圧に覆われて晴れ間も出た。下旬は冬型の気圧配置が長続きせず天気は短周期で変わり気温は高い日が多かった。29～30日は一時的に冬型の気圧配置が強まり、一旦雪の解けた平野部にも再び雪が積もった。

2月 上旬前半に寒波

3日、13日及び21日を中心にそれぞれ数日間は冬型の気圧配置が強まって雪が降り、気温は平年より低くなった。特に上旬前半の2～4日にかけて強い寒気が北陸付近まで南下し（3日09時輪島市上空約5100mで-42.3℃）県内全般に雪が降り平野部で20～40cm、山沿いで70cm～1mの積雪となった。その後も旬の前半は冬型の気圧配置となって気温が低く、旬の後半には高気圧に覆われて晴れて気温が高くなる等、天気・気温ともに振幅の大きな周期変化であった。

3月 記録的な高温・早い桜の開花

上旬は7日にまとまった雨が降った他は旬の前半を中心に高気圧に覆われて晴れの日が多く、また日本海の低気圧に南風が吹き込むフェーン現象もあって気温はかなり高くなった。中旬の天気は周期的に変わったが、高気圧に覆われて晴れた日やフェーン現象により、引き続き気温はかなり高かった。下旬は短い周期で低気圧が通り、通過後に強い寒気が入り寒暖の変動が大きかった。月の平均気温は福井・敦賀ともに観測開始以来の高温となり、桜（ソメイヨシノ）の開花は平年よりかなり早く、福井（平年4月7日）・敦賀（平年4月6日）ともに3月26日で、福井では最早記録となった。

4月 並温・少雨

上旬の天気は概ね周期的に変わり、6日に低気圧が通過した後一時的に冬型の気圧配置となり気温の低い日があった。中旬は中頃と20日に晴れた他は日本海を北東に進んだ低気圧や本州南岸を進んだ低気圧の影響で曇りや雨の日が多かった。下旬は期間の初めと終わりに晴れたが、23～29日は本州南岸を東に進んだ動きの遅い低気圧や日本海を南下した寒冷前線の影響等で天気がぐずついた。3月まで続いた高温傾向は収まって4月の平均気温は平年並となった。曇りや雨の日が多く日照時間は平年より少なかったが、まとまった雨の日は少なく降水量も少なかった。

5月 嶺北並温・多照、嶺南高温・多照

上旬は4～5日にかけて低気圧が北陸沿岸から北日本に進んだ影響でまとまった雨が降った他は、高気圧に覆われ晴れて気温も高い日が多かった。中旬の天気は概ね周期的に変化したが、まとまった降水のあった日は少なく高気圧に覆われて晴れた日が多かった。下旬の天気も概ね周期的に変わり、24日と27日は日本海や本州上を進んだ低気圧の影響でまとまった雨が降った。

6月 梅雨入り平年並、下旬に一時大雨

上旬の前半は前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、後半は7日に雨が降った他は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。中旬は中頃まで高気圧に覆われて晴天が続き気温は平年より高かったが、16日以降は梅雨前線が日本付近に停滞して曇りや雨の日が多くなり気温は平年より低くなった。下旬は低気圧や梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。北陸地方の梅雨入りは6月15日頃で平年並（平年6月12日頃）であった。梅雨入り前後から曇りや雨の日が多くなったが、29～30日にかけて前線活動が活発となり2日間で60～100mmの雨が降り、崖崩れも発生した。6月の降水量は福井で平年並、敦賀でやや多かった。

7月 梅雨明け平年並、下旬は記録的高温

上旬の前半は梅雨前線の影響で曇りや雨となったが後半は北から勢力を広げる高気圧に覆われて晴天が続いた。中旬の前半は日本の南海上に停滞する弱い熱帯低気圧から本州付近に暖かく湿った空気が入った影響で、後半は本州付近に停滞する梅雨前線の影響により、ともに曇りや雨の日が続いた。下旬は弱い熱帯低気圧や台風5号の影響等で雲の広がった日があったが、太平洋高気圧の強まりと南よりの風の卓越により真夏日や熱帯夜が続き厳しい暑さとなった。北陸地方の梅雨明けは7月24日頃で平年並（平年7月22日頃）であった。梅雨入り当日から梅雨明け前日までの降水量は福井で325.0mm（平年比100%）、敦賀で292.5mm（平年比88%）であった。

8月 上旬高温、中旬は各地で集中豪雨

上旬は中頃と10日に雲が広がった他は太平洋高気圧に覆われた日が多く真夏日や熱帯夜が継続する等厳しい暑さと少雨が続き水不足が懸念された。中旬は弱い熱帯低気圧が相次いで本州付近に上陸または接近した影響で暖かく湿った空気が入り、大気の状態が不安定となって大飯で11日に127mm、美浜で14～15日の2日間に359mmの集中豪雨が降った他、16日には美山・今立町付近で大雨が降る等、県内各地で局地的に激しい雨が降り災害が多発した。下旬の初めと終わりは太平洋高気圧に覆われて晴れて暑さも厳しかったが、中頃は前線の影響で曇りや雨の日が多かった。

9月 高温記録更新、台風上陸2個

上旬は期間の終わりに晴れた他は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。中旬は低気圧や前線の影響で暖かく湿った空気が流れ込み、変わりやすい天気の日が多く、15日に台風第16号の接近で和泉村九頭竜で179mm、大野で92mm、越廬で91mm等まとまった雨が降った。下旬の前半は24日に台風第18号の接近で南よりの強風が吹き、また前線の影響で大雨の日があったが、後半は高気圧に覆われて晴天が続いた。太平洋高気圧の勢力が強くなり寒気が南下しにくかったことから9月の平均気温は各地で3℃前後高くなり高温記録の第1位となった。

10月 高温傾向続く

上旬の天気は概ね周期的に変わり、低気圧が発達しながら日本海を進みフェーン現象で気温が高くなった日や、一時的に冬型の気圧配置となった日があった。中旬は初めと終わりに晴れた日があったが前線や寒気の影響で曇りや雨のぐずついた天気が続いた。下旬の前半は高気圧に覆われて秋晴れが続いたが、後半は短周期で低気圧や前線が通過するのに伴い天気も短い周期で変わった。10月も全般に寒気が南下しにくいパターン（上空の流れが東西流）が続き、全国的に高温傾向で県内も月の平均気温は平年に比べ1.5℃前後高くなった。

11月 概ね周期変化、下旬後半は冬型

上旬は低気圧と高気圧が交互に通る、低気圧の通過後は一時的に冬型の気圧配置となり寒気が入ってしづれた。中旬の天気は短い周期で変わり、期間の中頃には冬型の気圧配置となって寒気が入り平野部であられが降った。下旬の前半は高気圧に覆われて晴れた日があったが、後半は冬型の気圧配置が続き28日には奥越山沿いで積雪となり勝山市北谷町の国道157号では除雪車が初出動した。

12月 久しぶりに師走の大雪

上旬は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多かった。中旬は冬型の気圧配置が続き雨や雪の日が多く期間の終わりには強い寒気が流れ込み嶺北で大雪となった。下旬も初め強い冬型の気圧配置が続き嶺北から嶺南東部を中心に大雪が降ったが、後半の天気は周期変化となり高気圧に覆われて晴れた日もあった。20日～21日にかけて強い寒気（21日09時輪島市上空約5300mで-39.3℃）が南下して平野部でも本格的な雪が降り、最深積雪は21日に和泉村九頭竜94cm、福井43cm、大野97cm、敦賀29cm等となった。福井の最深積雪は12月としては1986（昭60）年の73cm以降は1988（昭63）年の26cmが最大であったが、今回の43cmは久しぶりの大きな値となった。

1999年（平成11年）気象要素・月別平年比較観測表

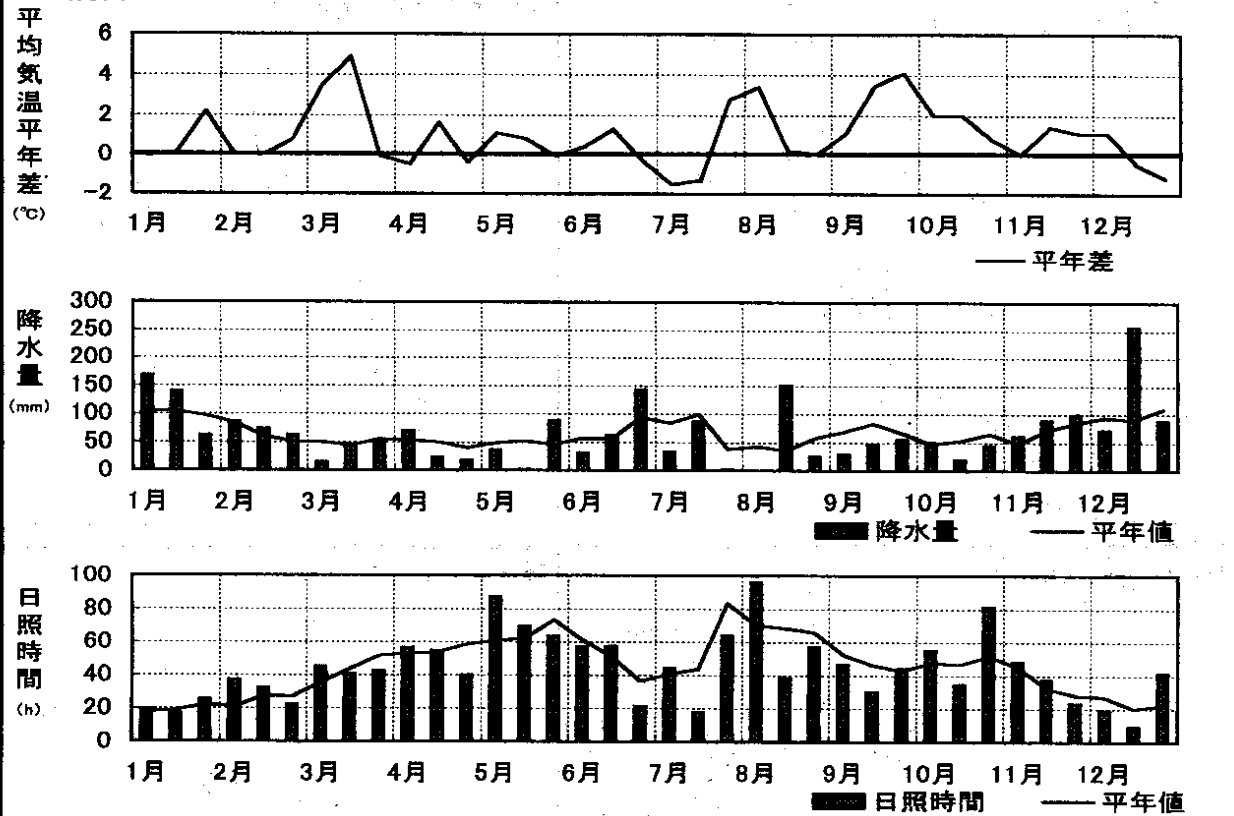
月	要 素	平 均 気 温 (℃)			降 水 量 (mm)			日 照 時 間 (h)		
	地 名	本年	平年差	階級区分	本年	平年比	階級区分	本年	平年比	階級区分
1	福井	3.4	+0.8	やや高い	368.5	120%	やや多い	61.7	105%	平年並
	敦賀	4.7	+0.8	やや高い	397.0	127%	やや多い	66.7	105%	平年並
2	福井	3.0	+0.3	平年並	219.0	113%	やや多い	90.9	124%	やや多い
	敦賀	4.2	+0.2	平年並	216.0	104%	平年並	74.4	103%	平年並
3	福井	8.6	+2.7	かなり高い	112.0	76%	やや少ない	127.7	98%	平年並
	敦賀	9.5	+2.6	かなり高い	78.5	47%	かなり少ない	123.1	92%	平年並
4	福井	12.7	+0.2	平年並	111.0	79%	やや少ない	150.8	92%	やや少ない
	敦賀	13.0	+0.1	平年並	103.0	70%	かなり少ない	131.9	81%	やや少ない
5	福井	18.0	+0.5	平年並	126.5	87%	平年並	220.4)	112%	やや多い
	敦賀	18.3	+0.8	やや高い	103.0	70%	やや少ない	228.2	118%	やや多い
6	福井	21.7	+0.5	やや高い	233.0	114%	平年並	136.1	92%	平年並
	敦賀	22.2	+0.9	やや高い	258.5	120%	やや多い	139.3	97%	平年並
7	福井	25.5	+0.1	平年並	122.5	56%	やや少ない	125.6)	75%	やや少ない
	敦賀	25.5	0.0	平年並	65.5	30%	かなり少ない	138.7	82%	やや少ない
8	福井	27.8	+1.1	やや高い	176.0	132%	やや多い	191.3	94%	平年並
	敦賀	28.0	+1.0	やや高い	223.0	170%	やや多い	193.4	94%	平年並
9	福井	25.1	+3.0	かなり高い	129.5	60%	やや少ない	120.4	86%	やや少ない
	敦賀	25.6	+2.9	かなり高い	239.5	109%	平年並	128.9	91%	平年並
10	福井	17.5	+1.6	かなり高い	113.0	70%	やや少ない	170.8	117%	やや多い
	敦賀	18.5	+1.7	かなり高い	149.5	95%	平年並	154.8	105%	平年並
11	福井	11.4	+0.9	やや高い	247.0	122%	やや多い	108.3	104%	平年並
	敦賀	12.8	+1.0	やや高い	232.0	122%	やや多い	106.9	98%	平年並
12	福井	5.3	-0.2	平年並	416.5	142%	かなり多い	69.6)	101%	平年並
	敦賀	7.0	+0.1	平年並	329.5	109%	平年並	72.3	95%	平年並
全年	福井	15.0	+0.9	かなり高い	2374.5	100%	平年並	1573.6)	98%	平年並
	敦賀	15.8	+1.0	かなり高い	2395.0	99%	平年並	1558.6	96%	やや少ない

(注) 日照時間の “)” は一部欠測値を含むことを表す。

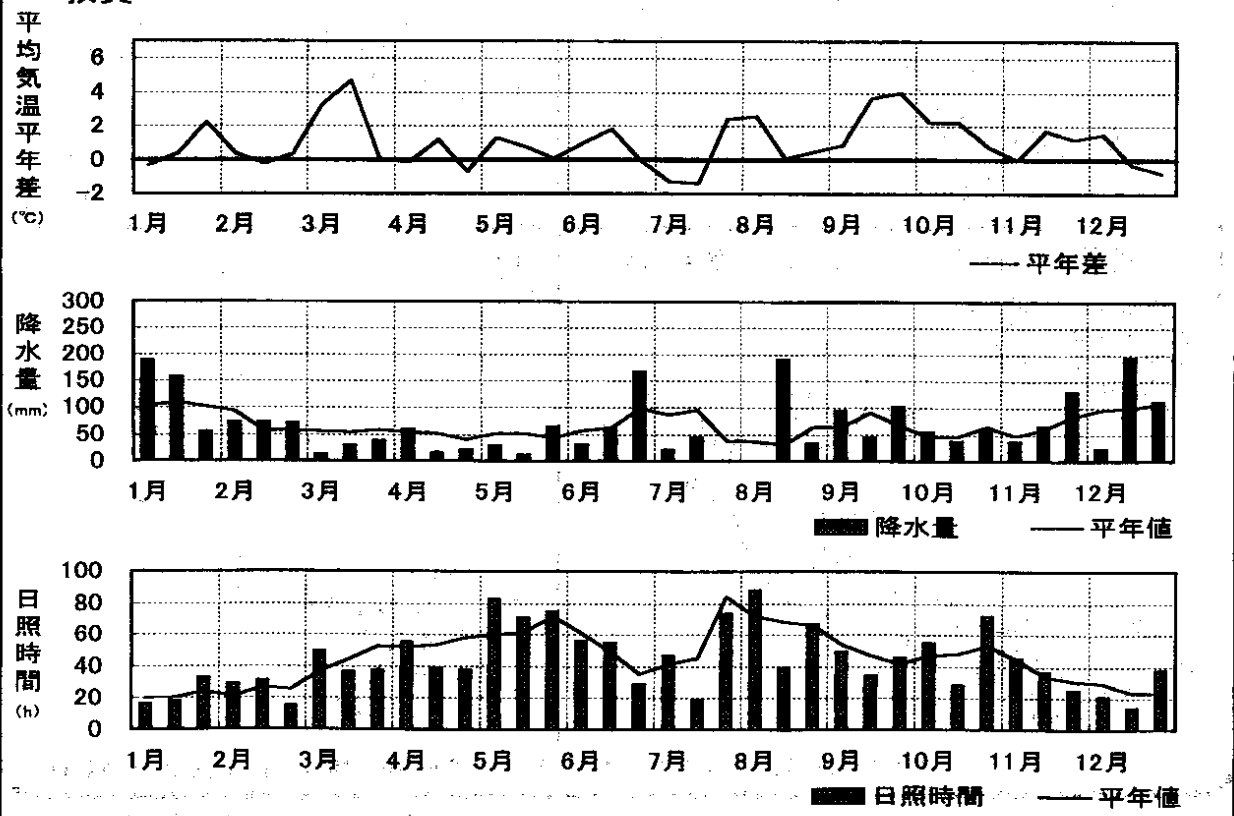
気温・降水量・日照時間の旬別変化図

1999年(平成11年)

福井



敦賀

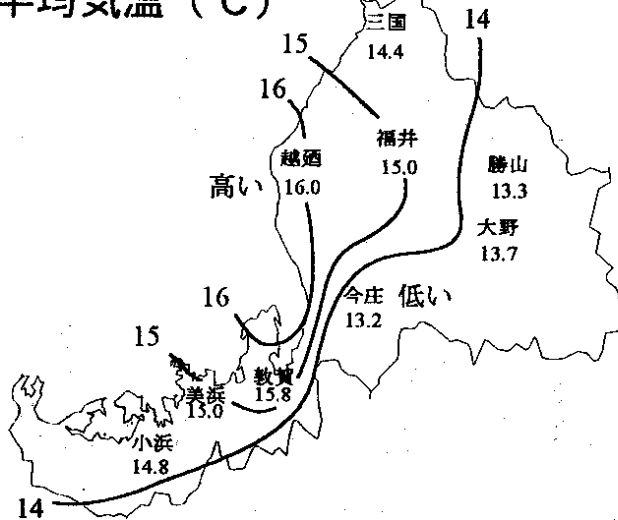


気温・降水量・日照時間分布図(アメダス)

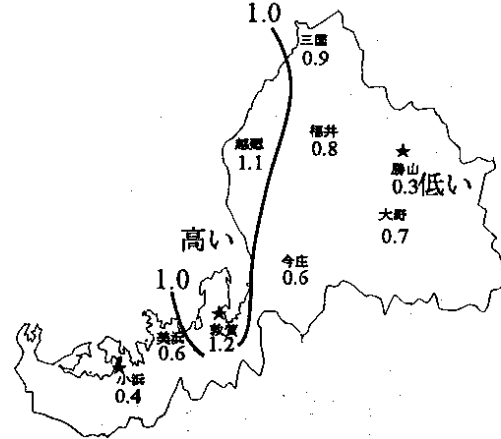
1999年(平成11年)

福井県

平均気温(℃)

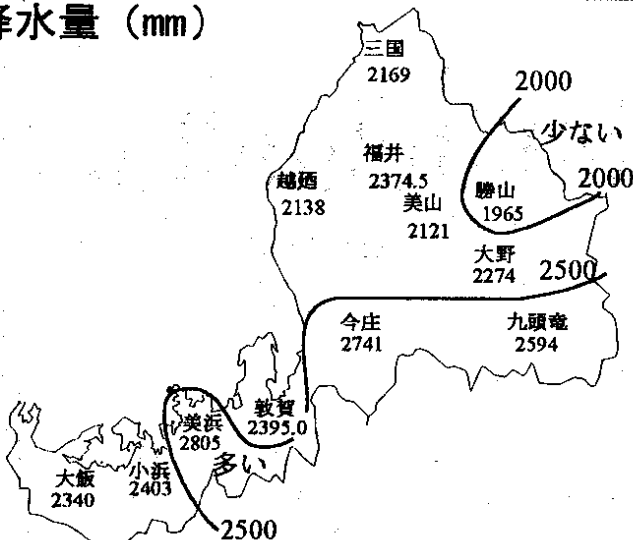


平均気温準平年値差(℃)

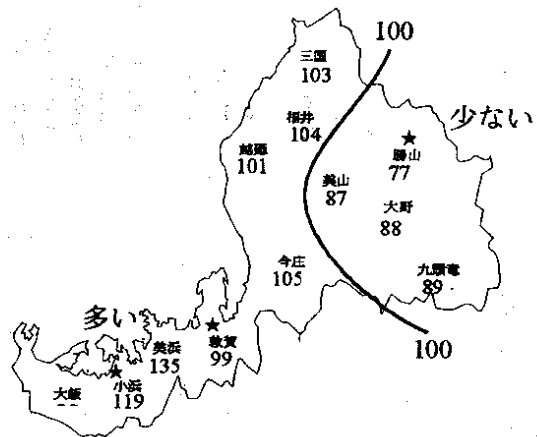


★ 移設前の準平年値を使用

降水量(mm)



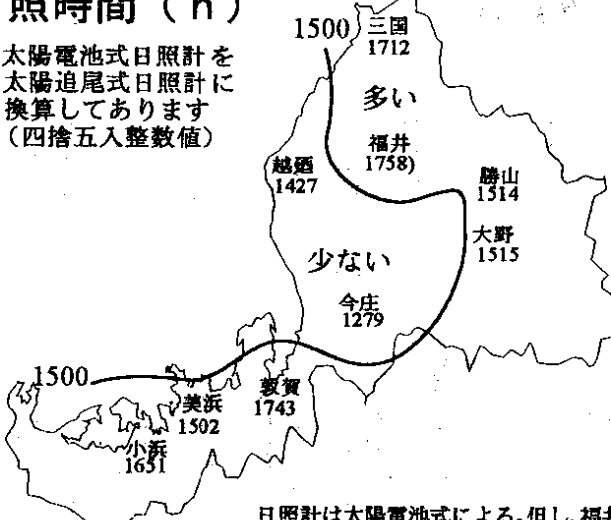
降水量準平年値比(%)



★ 移設前の準平年値を使用

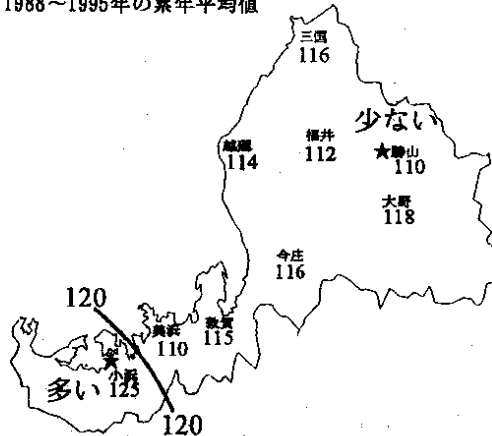
日照時間(h)

注)太陽電池式日照計を
太陽追尾式日照計に
換算してあります
(四捨五入整数値)



日照時間平均値比(%)

1988～1995年の累年平均値

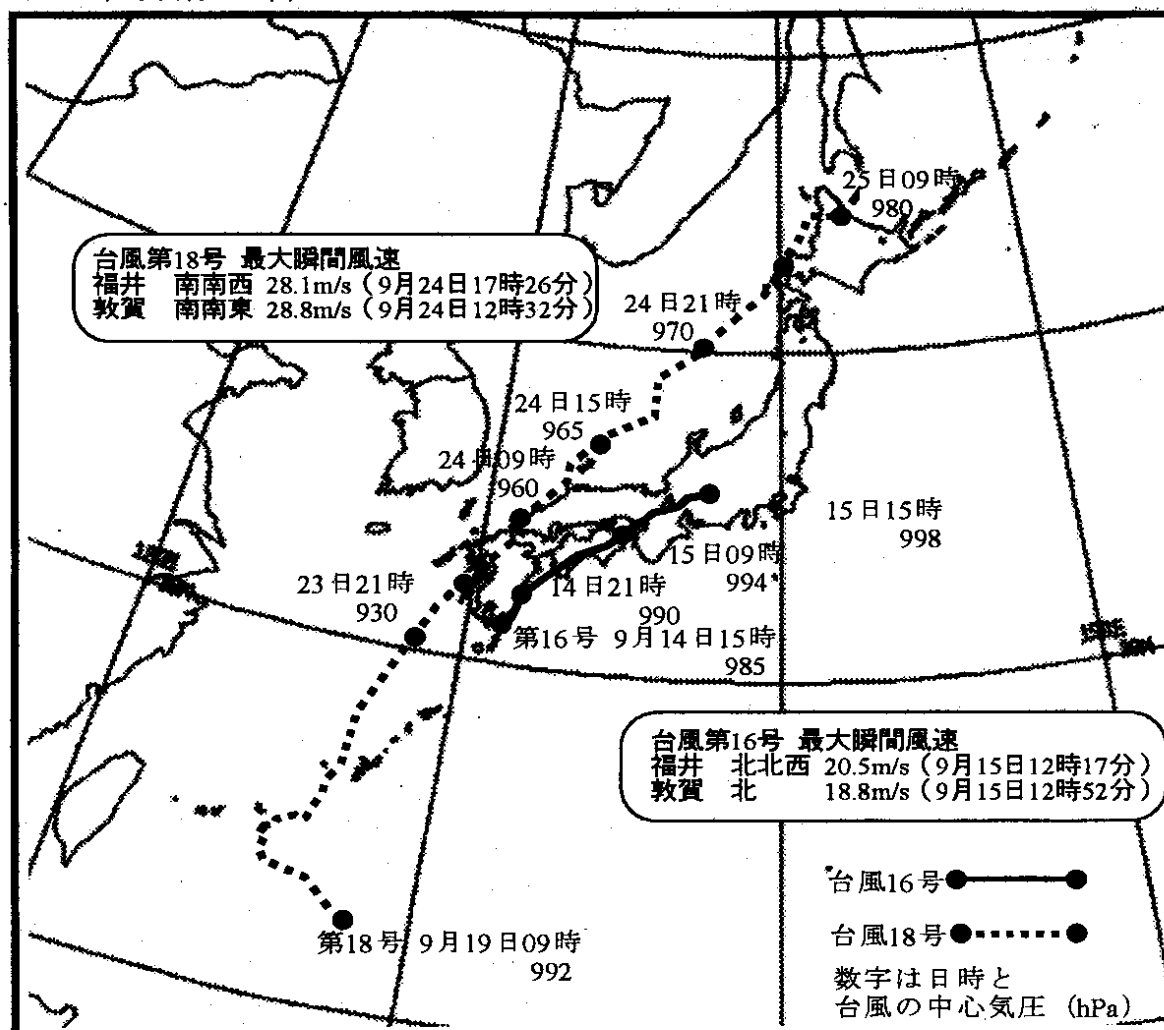


日照計は太陽電池式による。但し、福井・敦賀は太陽追尾式日照計。★ 移設前の累年値を含む

注] 平均気温・降水量の準平年値統計期間は1979～1990年

日本に上陸した台風と経路図

1999年（平成11年）



平成11年の概要

平成11年の台風の発生数は22個で平年の発生数27.8個より少なかった。このうち日本本土へは9月に2個上陸し、いずれも福井県に影響を及ぼした。

上陸台風

台風第16号 9/14 17時頃 宮崎県都井岬付近に上陸、9/15 03時頃 愛媛県宇和島市付近に再上陸、9/15 10時半頃 兵庫県南部に再上陸、9/15 13～14時頃 福井県に最接近、9/15 15時に長野県飯田市付近で弱い熱帯低気圧となる

台風第18号 9/24 06時頃 熊本県北部に上陸、9/24 09時前 山口県宇部市付近に再上陸、9/24 15～16時頃 福井県に最接近、9/25 01時頃北海道に再上陸

◎ 1999（平成11）年の台風発生数と上陸数（平年値1961～1990年）

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
発生数平成11年	—	—	—	2	—	1	4	6	6	2	1	—	22
発生数平年値	0.6	0.2	0.4	0.7	1.1	1.9	4.2	5.5	5.2	4.0	2.7	1.2	27.8
上陸数平成11年	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	2
上陸数平年値	—	—	—	—	0.0	0.1	0.4	1.2	0.8	0.2	0.0	—	2.8

1999年（平成11年）気象災害

（福井県内）

月 日	種 別	気 象 状 況	被 害 状 況
1月 8日 ～ 1月10日	積雪害	冬型の気圧配置が強まり強い寒気が入る。積雪は沿岸部10cm前後。平野部30～70cm、山沿い60～90cm。	北陸自動車道でスリップ事故が相次ぎ、名古屋行き高速バス5本が運休。JR北陸線、小浜線で運休等が、被害が大幅に乱れる。10日は美浜・三方町で公立幼稚園小中学校すべてが臨時休校。
2月 2日	落雷害	強い寒気の南下で大気不安定となり各地で発雷。	09時10分頃、越廼村八ツ俣の電柱に落雷、付近の123戸が最大2時間停電。13時40分頃、鯖江市別司町で傘を差して歩行中の男性に落雷。
2月 3日 ～ 2月 4日	積雪害	冬型の気圧配置が強まり強い寒気が入る。積雪は平野部20～40cm、山沿い等で70～100cm。	3日は吹雪や事故で北陸自動車道の通行止め。JR北陸線小浜線で運休やダイヤの乱れ。 4日朝、芦原町の京福三国線踏切内に路面凍結でスリップした乗用車が進入、電車と衝突。JR北陸線に運休はなかったが終日ダイヤが乱れる。
4月 6日	落雷害	前線を伴った低気圧が日本海を東進。前線は13時頃県内を通過。最大瞬間風速、敦賀29.6m/s。	12時05分頃、大飯町の関西電力大飯原発3、4号機（加圧水型、118万kw）の近畿地方への送電線に落雷。送電が停止し、出力が自動的に4万kwに下がった。県内での停電はなかった。
6月29日 ～ 7月 1日	山崖崩れ害 強雨害 洪水害	日本海沿岸まで北上した梅雨前線上を低気圧が進み前線活動活発化。この期間の降水量今庄130mm、越廼93mm、大飯85mm、小浜81mm、福井82mm。最大1時間降水量は小浜39mm今庄30mm、美浜27mm。	29日11時頃、河野村大谷地係の県道大谷杉津線で土砂崩れを発見、7月5日17時まで通行止め。 29日20時15分頃、清水町真栗地区で住宅の裏山が崩れ、住宅と裏山の間の仮設防護柵が倒れて住宅にもたれかかる。3世帯16人に避難勧告。 30日11時30分頃、福井市下一光地区の採石場跡で土砂崩れ。その影響で岩谷川が溢れ民家1戸が床下浸水し1世帯3名に避難勧告。 30日、安全確認のためJR小浜線、西敦賀－大鳥羽間、小浜－東舞鶴間で始発から徐行運転を実施。 7月1日14時50分頃、河野村糠の国道305号線で直径約1m（重さ約2トン）の岩石が落下し、走行中の乗用車のボンネットに当たった。反動で海側の防護柵に衝突。2名が軽いけがをした。
8月10日 ～ 8月11日	山崖崩れ害 浸水害	本州南海上で発生した弱い熱帯低気圧が北上して近畿地方に進んだ影響で大気の状態が不安定となり嶺南で大雨。日降水量大飯127mm、小浜79mm	11日、大飯町大島のオートキャンプ場でコテージ近くの山肌が崩れ道路を埋める等7カ所で崖崩れ。大飯町西村河村で民家等6棟が床下浸水。三方町常神で1棟床上浸水、1棟床下浸水。JR小浜線加斗－三松間で約2時間運転を見合わせた。
8月14日 ～ 8月15日	山崖崩れ害 浸水害 洪水害 強雨害	14日朝、関東地方に進んだ弱い熱帯低気圧が北西に進み、夜は北陸地方に達した。熱帯低気圧の動きは遅く15日も能登半島付近に停滞し、大気の状態が非常に不安定となり嶺南で局地的に大雨。美浜で最大1時間降水量95mm（14日22時）、日降水量269mm（14日）、期間降水量359mmの記録的な豪雨。	三方町で土砂崩れ1戸半壊、倒木で2戸破損。三方、美浜、上中町で床上浸水50戸、床下浸水259戸、崖崩れ69カ所。（停電）三方町で約130世帯。（JR）小浜線14日夕に西敦賀－栗野間運休、夜には全線不通。15日未明、天狗山トンネル敦賀方入り口付近に大量の土砂が流入（約5,000立方メートル）したのをはじめ、栗野－大鳥羽間12カ所で土砂流出などが発生。9月8日に全面復旧。（道路）国道27号美浜町金山－上中町安賀里間通行止め、他24カ所で冠水、土砂崩れ等で通行止め。道路、橋等崩壊31カ所。（農作物）水稲、野菜、花き、果樹、そばの427haに冠水や土砂流入。（農業施設等）畦畔崩壊、土砂流入等で

次ページに続く

月 日	種 別	気 象 状 況	被 害 状 況
			農地、水路、農道等計406カ所で被害。(山地、林道等)山地57カ所、林道110カ所で被害。(漁業)漁船7隻沈没、イシダイ、アマゴ等が淡水や土砂の流入によりへい死。(避難勧告)三方町5世帯18名、美浜町7世帯20名(災害対策本部)三方町、美浜町
8月16日	浸水害 洪水害	14～15日にかけて大雨をもたらした弱い熱帯低気圧は16日も能登半島付近にあって、県内は大気的不安定な状態が続いた。美山、今立町付近で局地的な大雨。	美山町で谷川から溢れた水が民家に流れ込み、床上浸水9戸、床下浸水18戸。山崩れのおそれが出たため、美山町蔵作と朝谷地区79世帯325人に避難勧告。また、両地区の簡易水道の配管が破損する等蔵作50戸が断水、朝谷で水が濁った。冠水で県道武生美山線の美山町朝谷ー上新橋間通行止め。
9月 7日	山崖崩れ 害 強雨害	低気圧が日本海を北東に進み中心から延びる前線に向かって暖かく湿った空気が入り大気の状態が不安定となる。嶺南で夜大雨。日降水量：大飯97mm、小浜62mm、最大1時間降水量：大飯60mm、小浜27mm、美浜22mm。	21時17分頃からＪＲ小浜線三松ー上中間で運転見合わせ。8日01時09分運転再開。21時40分頃県道坂本高浜線の高浜町笠原で道路脇の崖が崩れ高浜町笠原ー大飯町福谷間通行止め。
9月15日	浸水害 山崖崩れ 害 土石流害	台風第16号 14日17時頃宮崎県南部に上陸後、15日に四国近畿、中部地方を進み、15時に長野県飯田市付近で弱い熱帯低気圧となる。15日の日降水量九頭竜179mm、大野92mm越廼91mm。最大瞬間風速：福井20.5m/s、敦賀18.8m/s。	大野市上打波地区市道山沿いで崖崩れ。13時頃、大野市仏原の国道158号線馬坂トンネル出口付近で溪流から土砂が流出し道路をふさいだのをはじめ、15カ所で道路通行止め。北陸自動車道は滋賀県側の雨による視界不良のため敦賀ー木之本間で通行止め。ＪＲ越美北線計石ー九頭竜湖、小浜線三方ー上中で一時運転見合わせ。
9月21日	強風害	本州付近に活動が活発な前線が停滞し大気の状態が不安定となる。嶺北を中心に大雨。日降水量：九頭竜158mm、三国140mm。	突風により三国町で住家1棟一部破損。大雨によりＪＲ北陸線は11時10分頃から上り線で一時運転見合わせ、下り線徐行運転。ＪＲ小浜線は11時05分から一時運転見合わせ。
9月24日	強風害 海上波浪 害	台風第18号 24日06時頃、熊本県北部に上陸後、山口県を通り昼前に日本海へ抜け北東へ進む。15～16時頃福井県に最接近し北海道に再上陸した後オホーツク海に抜ける。最大瞬間風速：福井28.1m/s、敦賀28.8m/s。	武生市塚町の住家屋根一部破損、同市村国の農作業小屋全壊。丸岡町山竹田で倒木により町集会場と倉庫の屋根一部破損。武生市塚町の住家トタン屋根の一部が吹き飛び近くの高圧線2本が切れて周辺民家約140戸が停電。ＪＲ北陸線12時～19時頃まで運転見合わせ。ＪＲ小浜線は14時以降5本に運休。ＪＲ越美北線14時以降11本運休。新日本海フェリー敦賀発小樽行き1便欠航。坂井町で災害対策本部設置。
12月 6日	落雷害	低気圧が北海道付近に進み本州付近は冬型の気圧配置となり上空に寒気が入って各地で雷が発生。	20時30分頃、丸岡町北横地の電柱に落雷、付近の約260世帯で停電。21時45分に復旧。
12月20日	強風害	北海道の西海上には低気圧があって本州付近は冬型の気圧配置が強まり、西よりの強風が吹いた。最大風速：越廼11.0m/s、福井9.5m/s、三国7.0m/s、最大瞬間風速：福井18.5m/s。	18時40分頃、三国町安島で木造平屋建トタンぶき車庫が全壊した他、住宅や店舗の屋根瓦、パイプ車庫の破損や窓ガラスが割れるな等の被害が発生。